

第68回 スケートインターハイ 八戸・郡山・名古屋

▼第2日▲

第68回全国高校スケート、アイスホッケー選手権第2日の23日、八戸市と南部町、福島県郡山市で各競技を実施した。青森県勢5校が1回戦に登場したアイスホッケー競技は八戸、工大一の2校がそれぞれ勝利し、2回戦に駒を進めた。

郡山市の磐梯熱海スポーツパーク郡山スケート場で行われているスピードスケート競技は男女500㍍、男子5000㍍

を実施。男子5000㍍で橋本芳彦(八戸西)が15位。500㍍で男子の松本匡平(八学光星)が16位、女子の宮下和奏(同)が25位だった。

アイスホッケー競技はテクノルアイスパーク八戸、田名部記念アリーナ、ふくちアイスアリーナの3会場で1回戦11試合を実施。八戸は明大中野(東京)に1-1の同点に追い付かれたが、第3ピリオドに勝ち越しを決め、緊迫した試合を制した。青森県王者・工大一は八戸商との地元勢対決に完勝して、2回戦へ進出した。八学光星は北海道栄に、八戸工は北海にそれぞれ大量得点を許し、初戦突破を道勢の壁に阻まれた。

第3日の24日、スピードスケートは男女1000㍍、女子3000㍍を実施。アイスホッケーは2回戦8試合を実施する。

(取材班)

光星14失点 防戦一方



【八学光星-北海道栄】第2ピリオド、攻め上がる光星の中川原広人(中央)＝ふくちアイスアリーナ

北海道栄 14(4+10)0 八学学院
 北海道 4(1+0)0 光星
 ▼得点者【北】金沢2、菅原、洗木2、佐藤3、リー・ヒョンレ、青木2、前花、本地、北川
 【評】八学光星は試合開始直後に先制点を奪われ、終始防戦一方。第3ピリオドに入ってバックに食らい付く意地も見せたが、自らの反則も重なり得点につながらなかった。試合を通じて相手の速いプレッシャーに対応できず、放ったシュートは6本にとどまった。

攻撃仕掛けられず

○：初戦突破を目標に掲げ、北海道栄に挑んだ八学

光星。主将のDF中川原広人、攻撃の要を担うFW工藤紫苑らを中心に粘ったが、ほとんど攻撃を仕掛けられないまま終わった。2年生の工藤にとって、3年生と共に出場する最後の大会。「何としても、1点でもいいから取りたかつ

た」と悔しかった。中川原主将は「もつと力をつけ、勝ちを増やしてほしい」と後輩たちに思いを託す。来年のインターハイに向け、工藤は「まずは守備を強化して攻撃につなげたい。次は必ず初戦を突破する」と力を込めた。

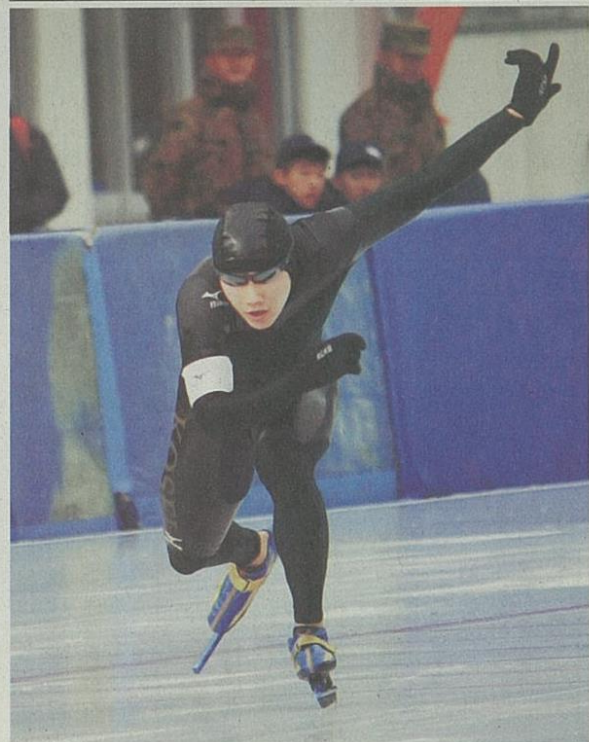
▼1回戦 東 北 11 3 1 0 高崎工 (宮城) 4 1 0 1 (群馬) ▼得点者【東】小島3、金岡2、及川2、林、小林、高橋、目黒、高風岡 釧路工 7 14 2 1 0 0 早実 (北海道) 1 1 0 0 0 ▼得点者【釧】嶋野(P.S)、鈴木、柳、熊谷朋、熊谷賢、富田、西長瀬 日光明峰 5 2 0 1 1 慶応 (栃木) 3 1 0 0 1 (神奈川) ▼得点者【日】高山蓮、松永、斎藤2、駒田【慶】小島 埼玉米 5 0 1 0 1 釧路江南 (埼玉) 4 1 1 0 1 (北海道)	▼得点者【埼】古川、塩野、伊藤2、上野【釧】野呂 関大第1 7 1 1 1 1 武相 (大阪) 5 1 1 2 1 4 (神奈川) ▼得点者【関】里見、山根4、中植、原田【武】田中、笠原、伊藤、天野 水戸啓明 5 2 0 1 0 光泉 (茨城) 3 2 1 2 3 (滋賀) ▼得点者【水】下谷、小笠原慶、井藤、今村、乙藤【光】藤本、福井、岡崎 軽井沢 8 5 1 1 3 鹿谷富山 (長野) 2 5 1 1 5 (富山) ▼得点者【軽】大橋2、南山、田原、宮沢2、中野、相沢【龍】村社4、渡辺
--	--

橋本(八戸)の15位最高男子5000

男女500も入賞に届かず

スピードスケート

▽男子5000	①倉坪克拓 (長野・岡谷南) 36秒36 ②大島北海道・白樺学園 36秒68 ③森重山形・山形中央 36秒93 ④佐竹山形・山形中央 37秒15 ⑤菊池長野・岡谷南 37秒50 ⑥油井長野・市長野 37秒82 ⑦原長野・佐久長野 38秒02 ⑧神谷電北海道 38秒02	①松本匡平(八戸学院光星) 39秒04 ②伊藤山泰誠(八戸西) 39秒42 ③谷村龍信(八戸西) 39秒96 ④佐々木快彰(八戸学院光星) 40秒34 ⑤小笠原敦史(八戸水産) 44秒66	①蟻戸一永(北海道・白樺学園) 6分52秒10 ②堀川(北海道・白樺学園) 6分54秒38 ③山田(北海道・池田) 6分58秒69 ④森野山形・山形中央 6分59秒03	①松本(長野・諏訪美) 6分59秒05 ②伊藤(長野・犀伏) 7分00秒73 ③三井(長野・東京都) 7分05秒29 ④三井(長野・東京都) 7分05秒29 ⑤三井(長野・東京都) 7分05秒29 ⑥三井(長野・東京都) 7分05秒29 ⑦三井(長野・東京都) 7分05秒29 ⑧三井(長野・東京都) 7分05秒29 ⑨三井(長野・東京都) 7分05秒29 ⑩三井(長野・東京都) 7分05秒29	▽女子5000	①熊谷萌(岩手・盛岡工) 40秒16 ②長崎(北海道・池田) 40秒95 ③古川(山形・山形中央) 41秒56 ④佐々木(北海道・帯広二条) 41秒60 ⑤両角(長野・東海大諏訪) 41秒68 ⑥清水彩(北海道・駒大苫小牧) 41秒71 ⑦藤井(北海道・帯広農) 41秒71 ⑧両角(長野・東海大諏訪) 42秒15 ⑨宮下和奏(八戸学院光星) 45秒00
---------	---	--	---	---	---------	---



【男子5000】39秒04で16位の松本匡平(八学光星)

松本「満足できる滑り」

○：男子5000で、青森県勢最高の16位に入った松本匡平(八学光星)。「自分なりに満足できる滑りだった」と納得の表情だった。

スタート直後やコーナーを回る際は、強みとする足の回転数の多さを生かして加速。ただ、レーススタート時は風も穏やかで、屋外リンクの条件としては悪くなかっただけに「自己ベストを更新できればさらに良かった」と悔しさもにじませた。

24日に10000を控え、「自分が持っている力の全てを使って勝負したい」と気持ちを切り替えていた。